

2024年7月30日

各 位

会 社 名 株式会社アサヒペン
代表者名 代表取締役社長 澤田 耕吾
(コード番号: 4623 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理部担当 石尾 維英
TEL (06) 6930-5018

財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、金融商品取引法第24条の4の4第1項に基づき、関東財務局に本日提出いたしました2024年3月期の内部統制報告書に、開示すべき重要な不備があり、当社の財務報告に係る内部統制は有効でない旨を記載しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 開示すべき重要な不備

当社は、連結子会社である株式会社アサヒロジスト(以下「当該子会社」という。)において、2024年3月期に係る会計監査の過程で、同社の経理担当であった元従業員(以下「当該元従業員」という。)による業務上横領が発覚したことを受けて、2024年5月15日に事実関係や類似する事象の有無の調査及び原因・背景の究明並びに再発防止策の提言を目的として、社内調査委員会を組織いたしました。

社内調査委員会の調査の結果、当該元従業員による業務上横領及びこれを隠蔽するための会計帳簿の虚偽記載等の事実が確認されました。

本件が発生した原因として、当該子会社の経理担当が1名であり、資金管理を含む経理業務に関する権限が当該元従業員に集中していたこと、本来当該元従業員の上長が決済承認者として監視・監督を行うべきところ、当該元従業員への過度な信頼により、内部統制が機能していなかったこと、当該子会社の連結業績に与える影響が軽微であったため、内部統制評価の対象から除外していたこと、コロナ禍以降、当社内部監査部門による訪問監査が省略されていたことなど当社における監督・牽制が不十分であったこと等が原因であると考えております。

以上のことから、当社は、当社グループにおいて内部統制が有効に機能していなかったものと判断し、全社的な内部統制及び全社的な観点で評価する決算・財務報告プロセスの一部に開示すべき重要な不備があるものと判断いたしました。

2. 連結会計年度末日までに是正できなかった理由

本件は、当事業年度末日後に発覚したため、当該不備を当事業年度末日までに是正することができませんでした。

3. 開示すべき重要な不備の是正方針

当社は、当社グループにおける財務報告に係る内部統制の重要性を認識しており、社内調査委員会の調査報告を踏まえ、再発防止策を速やかに実施し、内部統制の改善を図ってまいります。

なお、再発防止策につきましては、2024年7月25日付「社内調査委員会の調査結果及び特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

4．連結財務諸表及び財務諸表に与える影響

上記の開示すべき重要な不備に起因する必要な修正事項は、全て連結財務諸表及び財務諸表に反映しております。

5．連結財務諸表及び財務諸表の監査報告における監査意見

無限定適正意見であります。

以上